



～国際物流戦略チーム「今後の取組」を改定～

社会・国際情勢等、我が国の国際物流をめぐる環境変化に的確に対応するため、**強靱で持続可能な国際物流ネットワークの構築**に向けて、

以下の3つのポイントを、

重点的に取り組むべき項目 とします。



1. 経済安全保障に資する国際物流ネットワークの構築

- 中東情勢・ウクライナ情勢など混迷を増す世界情勢へ対応していくため、**国際海上コンテナ輸送の多方面・多頻度の直航サービスの充実**を図ります。
- 「港湾ロジスティクス」が成長戦略における「危機管理投資」、「成長投資」の戦略分野として位置づけられています。港湾のサイバーセキュリティ対策を強化するため、**サイバーセキュリティ基本法等に基づく関連対策を推進**します。
- 南海トラフ地震など大規模災害発生の切迫性が高まるなか、**災害発生においても阪神港、関西国際空港の物流機能を維持するためのBCPの策定を推進**します。

2. サステナブルな国内物流ネットワークの構築

- 労働力が減少するなか物流分野においても生産性向上が求められています。**労働力の確保に向けた取組を実施**します。
- 国際物流において、航路選択が進んでおり、我が国の競争力を確保するため、ベースカーゴをはじめとした貨物量の確保が求められています。**関西圏の産業を支える国際物流環境を構築**します。
- 現在の物流機能を確保するため、産官学だけではなく、広く国民の理解醸成が求められています。**環境や人にやさしい物流実現に向けた情報発信**に取り組めます。

3. 国際物流におけるDX・GXの推進

- 成長戦略における17の戦略分野の1つとして「港湾ロジスティクス」が位置づけられるなど、物流分野におけるDXの推進が求められています。**COMPASをはじめとしたAIターミナルの推進やサイバーポート、KIX Cargo Cloudなど港湾・空港分野でのDXを推進**します。
- 「国土交通省環境行動計画」において、重点的に取り組むべき政策として「徹底した省エネ・クリーンエネルギーへの移行、再エネの供給拡大等の国土交通GXの推進」が定められており、物流分野においてもGXの推進が求められています。**カーボンニュートラルポート（CNP）形成に向けた取組や空港の脱炭素化に向けた取組を推進**します。